

令和7年度 一般選抜問題 1期 【1日目】

政治・経済

1

次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。(34点)

政府は会計年度の予算を国会に提出し、議決を経たうえでこれを執行する。年度当初までに予算の議決ができないときには、 予算が組まれる。会計年度の当初から実施される予算を本予算（当初予算）といい、年度途中で組まれる予算を 予算という。一般会計年度における歳入と歳出の実績を示す決算は、会計検査院の検査を受けた後に、内閣が次年度の国会に提出し、承認を受ける。

課税に関しては、国民を代表する国会のみがその権限を持っていて法律の定めが^(a)必要である。租税には納税者と税負担者（担税者）が同一である直接税と、両者が異なる間接税がある。また、納付先による区分として国税と 税がある。さらに、何に対して課税するかによって、所得課税、 課税、消費課税がある。所得課税は個人や会社の所得を対象として課税され、消費課税は物品の消費やサービスの提供などを対象として課税され、 課税は財産を対象として課税される税金等をいう。租税収入における直接税と間接税の割合を という。

1970年代前半以降、経済活動の成長に伴った税収が伸び悩み、あわせて、 化が進行し始めたことから、福祉財源などを安定的に確保する必要が生じてきた。このため の見直しが求められ、1989年には税率 %の消費税が導入された。その後、消費税率は段階的に引き上げられ、2014年から8%、2019年には10%となった。一方、1990年代以降、所得税や法人税は景気対策として引き下げられてきた。

消費税には 性があるなど問題点も指摘されている。これを緩和するために、10%への消費税率引き上げと同時に、 %の 税率が外食や酒類を除く食料品などに導入された。

問1 空欄 ~ に入る適切な語句を答えなさい。

問2 空欄 ~ に入る適切な数字を答えなさい。

問3 下線部(a)に関し、この考え方を何主義というか、答えなさい。

2

次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。

(33点)

高度成長期には、地方から流出した人口が、主として首都圏・圏・阪神圏をはじめとする大都市部に集中した。その結果大都市部では、交通渋滞や住宅難、地価高騰、都市型公害等の問題が生じ、地方では、機関の路線廃止、の統廃合、医師不足、生活必需品を販売する店の廃業等、いわゆる化による問題が進行した。

大都市部では近年、相次ぐ再開発により人口の集積度がさらに高まった。その他^(a)の複合的な要因も相まって、崩壊後に一服した都市部の住宅価格は大規模高層マンションを中心に高騰に転じ、平均的な勤労者世帯の住宅取得が困難となりつつある。一方、高度成長期に造成開発された郊外の団地等では、住民の高齢化による「大都市における化」とも言うべき新たな事態も生じている。

これに対して地方では、人口の流出が一層深刻化し、高度成長期以来の「農漁村の化」のみならず、近傍の経済・社会を支えるべき地方都市が、現在ではその機能を喪失しつつある。開発の失敗や拡大を狙った工業団地造成が所期の成果をあげず、の累積赤字に苦しんでいる地方公共団体も多い。

問1 空欄 ～ にあてはまる適切な語句を下記の語群から選び、
記号で答えなさい。

【語群】

ア. 小売 イ. 中東 ウ. 雇用機会 エ. 公共政策
オ. 次期戦闘機 カ. 過疎 キ. 将校 ク. 公共交通
ケ. ベルリンの壁 コ. 卸売 サ. 過密 シ. 第三者
ス. リゾート セ. 公共放送 ソ. 絶対国防圏 タ. 検校
チ. 直売 ツ. 学校 テ. 中立 ト. 過荷重 ナ. シェア
ニ. 中京 ヌ. バブル経済 ネ. 国産旅客機 ノ. 版図
ハ. 第三セクター ヒ. 第三債務者

問2 下線部(a)として不適切なものを下記の選択肢から二つ選び、記号で答えなさい。

ア. 低金利 イ. 高金利 ウ. 建設費の高騰 エ. 円安 オ. 円高

3

次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。

(33点)

資金に余裕のある経済主体と、資金を必要としている経済主体が資金を融通し合う仕組みのことを「金融」と呼ぶ。銀行は、預金者から集めた預金を企業などへ貸し出しているが、銀行などの金融機関からの借り入れによって資金調達をする方法は 金融と呼ばれる。これに対し、企業が株式などを発行して資金調達は 金融と呼ばれる。

銀行は預金の一部を 金として中央銀行に預金するが、残りの資金は再び貸し出す。貸し出された資金の多くは預金となって再び銀行に戻ってくるから、銀行はそれをもとにしてまた貸し出しを行う。その結果、銀行は最初に預けられた預金の何倍もの貸し出しを行うことができる。このことを と呼ぶ。

多くの国では1930年代まで、中央銀行の発行する紙幣は との交換が義務付けられていた。このような制度を 制と呼ぶ。しかし現在では との交換の義務のない紙幣が発行されている。このように金融制度は時代とともに変化している。

我が国では1996年に金融制度の抜本的な改革が行われ、預金者や投資家に自分の判断と責任で預金先や金融商品を選択することが求められた。それまで金融機関が破綻した場合に全額保証されていた預金は、一金融機関あたり1,000万円とその利子までしか保証されないこととなった。

銀行や証券会社を監督する業務は、以前は大蔵省（現在の財務省）が行っていたが、現在では独立した機関である が担っている。

問1 空欄 ～ に入る適切な語句を答えなさい。

問2 下線部(a)に関し、株式などが発行される市場は何と呼ばれるか、答えなさい。

問3 下線部(a)に関し、このような資金調達方法を行う時に、株式以外ではどのようなものが発行されるか、代表的なものを答えなさい。

問4 下線部(b)に関し、我が国の中央銀行の名称を答えなさい。

問5 空欄 , に入る適切な語句を答えなさい。

問6 下線部(c)の制度を何というか、カタカナで答えなさい。